

日本保険学会平成26年度全国大会
共通論題「保険業規制と国際的調和」

保険事業者の活動範囲の拡大と 契約者利益

司会：井口富夫（龍谷大学）

平成26年10月19日（日）

香川大学経済学部（幸町キャンパス）

I 保険業における公的規制：従来

- 主権国家として、各国政府が国内で望ましい公的規制・規制緩和を実施
- 経済的規制（価格規制、参入規制）：原則撤廃
- 社会的規制（安全、健康、環境に係わる規制）：強化の方向へ

Ⅱ 保険事業者の活動範囲の拡大： 背景

- グローバル化

世界的な規模・範囲で活動

新興国（中国、インド、ブラジル…）市場に進出

世界保険市場の寡占化

- 業務の多様化

保険以外のビジネスを展開

＝「総合金融サービス業へ」

Ⅲ 世界金融危機と保険業規制の国際的協調

- 保険事業者のグローバル化→公的規制の共通言語が必要に
- 世界金融危機→金融安定理事会(FSB)がグローバルな金融機関を特定し、監督強化と新たな規制導入を検討

IV 共通論題「保険業規制と国際的調和」

- 参考資料：保険規制の国際的動向について
- 報告者と論題
 - ① 金融危機後の保険監督・規制——背景事情と考え方を中心に——
報告者：溝渕 彰（香川大学）
 - ② G-SIIsに関するIAISでの検討状況と本邦保険業界への影響
報告者：浅見 俊雄（日本損害保険協会）
 - ③ 金融規制と企業会計の調和化が保険業に与える影響
報告者：上野 雄史（静岡県立大学）
 - ④ 保険業規制の国際協調のあり方に関する考察—保険のリスク移転と金融仲介機能に焦点をあてて—
報告者：諏澤 吉彦（京都産業大学）

V マクロ経済の動きとその影響

歴史的出来事	マクロの動き	保険業・保険規制への影響
1929年 大恐慌	大きな政府へ	株価暴落の影響
1973年 石油危機	科学技術政策の強化 (サプライサイド)	株価暴落の影響
2007年 世界金融危機	金融政策の国際協調体制の強化	規制の国際的調和

VI 質問

保険業規制の国際的調和が与える影響とは？。
今後、どうあるべきか？

- 保険契約者利益に対して
- 保険会社経営に対して
- 各国の保険業規制に対して

参考文献

- 植田和男編著[2010]、『世界金融・経済危機の全貌原因・波及・政策対応』慶應義塾大学出版会。
- 上野雄史[2013]、「生命保険業における規制監督と企業会計の国際的調和化」『生命保険論集』第182号。
- KPMGインターナショナル[2013]、『保険規制の進化：新たな夜明け・・・』KPMGファイナシャルサービス・ジャパン。
- 菅野正泰[2013]、「グローバル金融危機における損害保険会社のシステミック・リスクの影響度分析：銀行との対比検証」『損害保険研究』第74巻第4号。
- 中浜隆(座長)[2013]、『国際的保険グループの監督規制』生命保険文化センター。
- MacAvoy, P.W.[1979], *The Regulated industries and the Economy*, W.W. Norton & Co.